

指紋認証クレカ販売

複数金融機関が実証実験

M o r i X

生体認証システムの開発を行うMorix（モリックス、東京都）の指紋認証機能付きクレジットカードの実証実験が複数金融機関で進んでいる。カード内に登録した指紋情報と利用者の指紋の一致で決済でき、既存の決済端末が活用可能。同社は来秋までのカード普及を目指している。



同社のクレジットカードは0.45ミリの指紋センサーを実装している（提供）

利用者は専用装置に指紋を登録することで使用できる。登録は自宅での設定可能なほか、指紋の変更や削除はできないため、紛失時に届け出る必要性や悪用される恐れがない。決済はカードに実装された指紋センサーに指を置き、端末にスキ

ャンまたはタッチすることで行う。既存の決済端末に対応し、店舗側は新たな機器を導入する必要がなく、外部サーバーでの管理コストは発生しない。暗証番号は原則不要だが、カード会社が設定している場合、登録済みのスマートフォンや携帯電話にSMSが届き、承認することで支払いが完了する。同製品は紛失時の対応コスト削減や、タッチ決済時の金額上限を撤廃できることなどから2022年3月に、マスターカードから製造・販売の認定を取得した。取得後は同社の信用力と安全性の高さから「多くのカード会社や銀行から問い合わせがある」（久保田守彦代表取締役）。実証実験中のカード会社からは「すぐに導入したい」という声も出ている。今後は、来秋までのカード普及とVISAからの認定取得を目指す。